京城日報 朝刊
發行所 合資會社 京城日報社 京城府太平通一丁目三十一番地

聖壽の彌榮を祈念

天長の佳辰 民一億の奉祝

【東京電話】大御稜威のもと皇威四海に遍く大東亞戰爭下に再び迎へた天長節の佳き日、この日は國內はもとより北に南に赫々たる戰果を擧げるわが忠勇なる皇軍將兵は御民一億の感激をこめて聖壽萬歲を奉祝、米英擊滅の新なる覺悟と盡忠報國の決意を誓ひ奉つた、この朝『國民奉祝の時間』午前八時を期して全國各戶をはじめ街頭、職場を問はず、老いも若きも一齊に宮城を遙拜し、ラジオに和して『君が代』を奉唱し聖壽の彌榮を心から祈念し奉り、奉祝の赤誠を捧げた、また全國の官公衙、學校をはじめ海上の船舶などではそれぞれ奉賀式を擧行、この聖なる一刻に一億民草の感激と感謝をこめて聖壽の無窮を壽ぎ奉つた

各地の天長節

…新京…【新京廿九日同盟】大東亞戰下二度目を迎へた天長の佳節、この日、滿洲國では午前八時を國民奉祝の時間と定め、サイレン、ラジオを合圖に一人殘らず宮城遙拜、聖壽の萬歲を祈り奉るとゝもに米英擊滅の決意を固くした、新京では國民奉祝の時間について午前九時から新京神社で天長節祭を執り行ひ、また日本總領事館では同十一時から御眞影拜賀式を擧行、午後零時卅分から大和ホテルにおいて天長節官民合同奉祝會を開催した
一方各家庭では戶每に國旗を揭揚、聖壽の無窮を祈り奉り奉祝の誠を捧げ戰時下に相應しき奉祝行事を繰展げた

…南京…【南京二十九日同盟】南京では午前九時から南京總領事館で御眞影奉拜式を行ひ、居留民揃つて參列、天壽の萬歲を祈念し奉つた、つゞいて午後一時から民國主催の天長節奉祝陳成大會を擧行した

…上海…【上海二十九日同盟】上海では戶每に日章旗を揭げ十萬居留民は遙に聖壽の無窮を壽ぎ奉つた、この日虹口公園では午前八時より上海總力報國會主催の盛大な天長節祝賀式が擧行され、ついで午前十時より總領事館聽舍…

ラバール首相、獨軍代表と會談

【ビシー廿八日同盟】フランス首相ラバールはパリにおいて獨軍代表その他と會談したのち廿七日夜ビシーに歸還し廿八日ペタン元帥と會見要談を遂げた

第廿七軍潰滅迫る

奪火鎭包圍鐵環完成

【南部太行山脈〇〇にて廿九日同盟】將鹿鍾麟麾下の第廿七軍が楊水村の軍司令部とゝもに不落を誇る擁護トーチカ部落、奪火鎭（陵川南方廿五キロ）に對する總攻擊は大東亞戰下ここに迎へた天長の佳節を期し火蓋を切つた、すなはち第廿七軍の殘敵を隨處に擊破しつゝ奪火鎭目指して北進した御稜、鶴見、吉村の諸部隊に呼應し南方より猛進せる村川、奧村、笠原の各部隊は敵第四十軍の敗殘部隊に猛爆を加へつゝ一路西北進した

廿八日には奪火鎭を挾んで包圍鐵環を完成廿九日午前〇時諸部隊は遙か東天を遙拜し一齊に聖壽の萬歲を奉唱し、終るや感激も新たにわが銃砲火は一齊に奪火鎭目がけて打ち込まれ夜明けとともにますます熾烈化した

東姚集に肉薄

部落周邊の敵に猛擊

【南部太行山脈前線廿九日同盟】今次『十八春太行山戰』の掉尾を飾る二大殲滅戰の一つである臨淇北方約十五キロの要衝東姚集攻略は天長の佳節を期して展開された、東姚集は臨淇北方に連る嶽岳地帶に位する要害の地であり、しかも同部落はその周圍が堅固なトーチカ陣地に圍まれてゐる不落の堅陣である、廿六日夜わが包圍網成るや廿七日早朝まづわが陸鷲の間斷なき爆擊が開始され、わが砲兵陣地よりする猛砲擊とともにわが鐵脚部隊はじり押しに包圍環を壓縮しつゝトーチカ陣地を次次に覆滅、廿八日早朝には早くも同部落南側の高地白雲山の攻略に成功し、東姚集陣地を脚下に瞰める有利なる態勢となつた
この日も熾烈なる立體的猛攻擊は續行され、わが各部隊は部落內よりする敵の猛擊を尻目に同部落周邊に猛攻を浴びせ、その數個所に突破路を開きひた押しに東姚集に肉薄した、かくて夜半に入つても彼我の砲聲は止まず戰鬪は聞かけてますます熾烈化しつゝある

荒鷲も猛爆

【晉豫省境前線〇〇にて廿八日同盟】わが荒鷲部隊は廿八日臨淇東北方の東姚集に向ひ敗走する敵第四十軍を急追する南下部隊に呼應し東姚集大爆擊を敢行し、周邊の地點原および敵トーチカ陣地を徹底的に爆碎した

敵機二機擊墜

【ラングーン特電廿八日發】雨季來る前の在印米英空軍はビルマ盲爆に死者狂ひの空しき焦慮ぶりを見せてゐるが、廿六日午後もコンソリーデテツトB24爆擊機六機編隊を以て性懲りもなくラングーンに來襲、我對空地上火器によつて二機（內一機は不確實）空中戰で一機（不確實）擊墜された

敵遺棄屍千五百六十三

第九十二軍殲滅戰綜合戰果

【徐州廿九日同盟】西隴海線碭山東南方地區において廿五日以來敢行されてゐた將介第九十二軍殲滅作戰は、わが精銳各討伐隊の神速の活躍により六千餘の敵大軍を完膚なきまでに殲滅し、北上企圖を完全に破碎した、二十五日戰鬪開始以來の綜合戰果左の如し
交戰敵兵力李仙洲麾下第九十二軍廿一師および五十六師主力六千五百、敵遺棄屍一千五百六十三、捕虜三百六十五、鹵獲品、迫擊砲二、重機七、輕機三十九、擲彈筒廿四、小銃三百四〇、手榴彈二千六百五十八、電信機四、發電機五十九、その他多數

晴の『文化勲章』授賜

光榮に輝く 功勞者七氏

…物理學の世界的權威で、その湯川粒子の發見は世界に誇るわが物理學界の輝く業績である、さらに德富猪一郞氏、三宅雄二郞博士は蘇峰、雪嶺の名で早くから親しまれ、明治、大正、昭和の三代を通ずるわが國文學思想界の大先覺であり、和田英作畫伯はさきに文化勲章を授與された故藤島武二畫伯と相並んでわが國洋畫壇の元老である

なほ文化勲章授與は昭和十二年二月十一日制定以來同年四月廿八日について去る昭和十五年十一月十日紀元二千六百年の佳節に當る授賜の御沙汰と併せて今回は第三回の御沙汰であるが、光榮の勲章拜受者は今回の七氏を加へて十九名に上り曠古の大戰下にあつてわが國文化の向上發展に寄せさせ給ふ大御心のほどは拜するも恐懼の極みである

文化勲章授與式

伊東忠太博士など七氏に對し授賜の御沙汰あらせられた晴れの文化勲章授與式は廿九日午前十一時から賞勲局總裁室において擧行、伊東忠太博士以下七氏（德富、三宅兩氏缺席）に對し瀬古總裁よりそれぞれ勲章ならびに勲記が授與された

授文化勲章（各通）

正三位勳一等	伊東 忠太
正三位勳二等	鈴木梅太郎
正三位勳二等	朝比奈泰彦
正六位	湯川 秀樹
正五位勳二等	德富猪一郞
	三宅雄二郞
從三位勳三等	和田 英作

英地中海艦隊司令官辭任

【リスボン廿八日同盟】ロンドン來電イギリス海軍省はイギリス地中海艦隊司令官少將ヘンリー・ハウッドが辭任した旨廿八日發表した

近藤提督、大將に親任

【東京電話】米英擊滅の火蓋を切つて一年有半、無敵海軍の威力は彌漫たる太平、印度兩洋上に輝かしき振古未曾有の大戰果を擧げつゝあるが、帝國海軍では昭和十六年秋から洋上第一線に在り不滅の武勳を樹てた近藤信竹中將が四月廿九日大將に親任せられ、決戰段階に卽應すべき海軍首腦部の陣容を强化し、こゝに大戰完遂への必勝體制を整へたのである、近藤大將の親任は昨年五月一日大將に昇進した古賀第一提督に次で滿一ケ年目に當り、現在海軍現役大將は伏見元帥宮殿下をはじめ奉り永野、加藤、長谷川、及川、鹽澤、吉田、山本、嶋田、豐田、古賀、近藤の十二提督となつたわけである、海軍省公表左の通り

海軍省公表（四月二十九日十六時）本日左の通り親任せられたり
海軍中將 正四位勳一等功二級 近藤信竹
任海軍大將

天長節觀兵式

大元帥陛下御親閱

御英姿を拜し諸兵感激

…大元帥陛下の大御姿、いよいよ神々しく仰ぎ拜す諸兵の感激は大纛旗を先頭に尾形侍從武官御先導申上げ龍駕として式場に進ませられ、莊嚴な君が代の喇叭、捧銃の敬光燦たるうちを舉手の禮を賜ひつゝ約廿分間にわたり各部隊の精鋭を御閱兵、同二時廿分御馬上の御英姿も颯爽と玉座に立たせ給へば諸兵指揮官中村孝太郞大將の軍刀一閃、こゝに豪壯なる分列式は開始された、代々木原頭に響きわたる軍樂隊の『扶桑の曲』に步武堂々と大地を踏み立てゝ御前を進みに進む、陛下には畏くもいちいち舉手の禮を賜ふ、大東亞の戰線に無敵皇軍を進め給ふ大元帥陛下の大御姿、いよいよ神々しく仰ぎ拜す諸兵の感激は頂に極まり、張り裂けんばかりの號令は相次で『頭右』の各隊が我を忘れて御馬前を行進する、步兵部隊に續くは精銳戰車部隊、機械化兵器群が大地を鳴らし、それに續いて士官學校自動車砲兵隊はじめ巨砲群、新鋭機械化兵器群が大地を鳴らし轟々と無限軌道を鳴らし、それに續いて士官學校自動車砲兵隊はじめ巨砲群も裂けんばかり轟々と進、次で野砲、騎兵各部隊の堂々たる行進、軍樂隊の奏樂が速調に變つてさらに軍國の躍動する壯大な繪卷が繰展げられた
午後二時五十分頃式場遙かの大空を切つて安倍定中將の指揮する戰鬪機八〇〇機の飛行部隊が爆音を式場上空に轟かせ堂々たる空中分列式を展開、こゝに空陸一體皇軍の精華を顯揚して同三時四十二分列式を終了、同五十分 大元帥陛下には天機いよいよ麗しく軍樂隊の奏する中を諸員奉送裡に宮城に還幸あそばされた

獨空軍攻勢强化

コーカサス各地連爆

【ストックホルム廿八日同盟】東部戰線の戰況は廿八日專ら獨空軍の攻勢のみ傳へられ地上戰鬪は殆ど行はれてゐない模樣だ、獨空軍戰爆連合編隊は廿七日から廿八日にかけ前後數回にわたりアルマビール、チホレツク、クラスノダールの諸都市を中心にコーカサス各地軍事施設を連爆大損害を與へてゐるが、獨軍が最近北部コーカサスに對する空軍攻勢を著しく强化したことは種々の意味で注目に値する
他方廿八日のサンフランシスコ放送はなにを感違ひしたかソ聯軍がイルメン湖北部の要所ノブゴロドに達した旨報じたが獨當局は勿論、ソ聯情報局からもなんら確報がない

ドーバー海峽で獨英艦海戰

【ベルリン廿八日同盟】ドーバー海峽ブルターニュ地方沖合で廿八日払曉、獨英兩國の輕艦艇が二時間に亘つて交戰、英國の驅逐艦隊は全部無事基地に歸還したが、ドイツ側は敵艦に砲彈が命中した…

伊ファシスト黨全面的改組

【ローマ廿八日同盟】ムツソリーニ首相はさきにファシスト黨書記の更迭を發表、カルロ・スコルツアを新書記長に任命すると共に副書記長五名を新任したが、廿八日さらに書記七名を任命しファシスト黨はこゝに全面的に改組されるに至つた、新顏觸左の通り
書記長カルロ・スコルツア、副書記長アレツサンドロ・タラビーニ、レオナルド・ガナ、アルフレド・クツコ、レナート・デッラ…書記アゲーモ、カペラ、フェリチアーニ、ギランツルコ、モリナンニ、ペグリアニ…細は近く公表される豫定である

國府國防會議二案決定

【南京廿九日同盟】國府最高國防會議は廿九日開催の第十三次會議において
一、新國民運動初期集訓辦法
一、青年節設定
の二案を附議決定した、新國民運動初期集訓は來るべき七、八月の夏季二ケ月間をもつて公務員ならびに青少年團の鍛錬期間として汪主席を委員長に推戴して新に新國民運動初期集訓委員會を設置、訓練施行機關として集訓營を設置して新國民運動進展の中核勢力ともいふべきこれら青少年官吏の訓練を實施せんとするものである
また青年節設定は還都三周年記念に際して擧行された全國青少年檢閱に各地より參集した青少年代表の希望、意見を入れて新に五月五日を青年節に決定したもので大東亞戰爭完遂に邁進する中國青年の決意を固むべき國定記念日としたものである

青木大東亞相昭南歸着

【昭南廿九日同盟】南方の建設狀況を視察中の青木大東亞相一行は廿九日〇〇より空路昭南に歸着した、この日天長の佳節を新嘉坡昭南に迎へた大東亞相は盛濤の歡迎を壽ぎ奉つたのち在昭南の邦人の招きに應じて午後三時〇〇頃を訪問、慌しい旅路にはじめて寛いだ一刻を過した、集つた人々は大學同窓生の大體昭南特別市長など極く親しい人廿數名で、談笑裡に午後五時同邸を辭し一旦宿舍に入つたのち午後六時より海軍側の招宴に臨んだ

社說

谷駐華大使就任の意義

一

重光葵氏の外相就任によつて東條內閣が大東亞建設に對し、如何なる熱意を有するか、しかして中華民國との共生同死をどれほど強いものにしようとしてゐるかゞわかつたのであるが、更に、重光氏の後任として何人を駐華大使に任命するかは、我が共榮圈ならびに樞軸國をはじめ世界全體が注意深く見守つて居るところであつた。從つて政府としてもその人選に對しては極めて慎重を期してゐるものと推察されたが、果然前外相の谷正之氏がこれに當ることになつた。政府の行ひ得たこの大きな人事は成功であつたと共に、我等としてはこれに二つの重大な意義を發見することの出來る欣びを感じるのである。

二

前に述べた如き意味に於て、戰後に實現する大東亞の興隆發展を思ふとき、今のうちにその基礎を固くして置かねばならないのであるが、その爲には、中華民國との結びつきを共生同死を超えた共榮共樂にまで約束づけて置く必要がある。この役目を果すものは今日の駐華大使の手腕力量並に その人物の、人格でなければならない。幸ひにも谷新大使は大東亞外交政策を樹立した中心人物であり、外交官としての最初の出發を支那に向け、其後も外務省のアジヤ局第一課長、アジヤ局長、滿洲國大使館參事官、駐支公使などに歴任してゐるので、共榮圈內における中華民國の重要性及びその性格は充分肚に入つてゐるものといつていゝ。

三

中華民國を熟知し、そのあらゆる點を掌を指すが如くに心得てゐる人物であり、外相としての立場から對支政策を樹てたといふ谷氏が、駐華大使となつたことはそれだけで一つの意義を持つものであるが、實にもう一つは、外相の椅子を去るや直ちにその內閣の起用を欣んで受諾し、その椅子についたといふ點である。これに就ては、あゝさうかといふ態度の目を以て見逃られ易いと思ふが、今日の場合に於ては、さう簡單にいつて了へないのである。何となれば、谷前外相の駐華大使就任によつて、戰時下の內閣改造がいかに明朗に、また協力精神によつてなされたかといふことを、如實にかつ端的に物語るからである。

四

大東亞省が設立された際、米英はおのれの心を以て他を律し權限を縮少された外相は、機構改革のために甚だ快からず、今回の外相退陣もその結果のあらはれであるかに惡宣傳をなしたこれは笑つて濟まされることでもあり、考へやうによつては由々しき問題だともいへる。しかるに、いま述べた如く外相の椅子を去つたばかりの谷正之氏が欣然駐華大使として出馬したことは敵側の惡宣傳を封じ、あはせて國內にも大きな教訓を與へたことになつた。谷氏の行動こそは滅私奉公の精神を顯現したものであつて、命くだるや、自己を忘れて任に赴く日本人の意氣を示したものとし、決戰下、たゞ協力と大和によつて進むの道をも訓へたものと受取るべく其效果大なりといはねばならない。

消息

◇伊東正毅醫學博士（城大教授）廿九日朝歸城
◇中村宗雄氏（東大教授）廿八日『興亞』で北京へ
◇四宮藤癖氏（星明會、壬午會々長）入城挨拶のため廿八日本社來訪

御寫眞は大元帥陛下の御閱兵 代々木練兵場にて 情報局許可

大本營親臨の大元帥陛下

【宮内省貸下】

玉座に向つて右前列杉山元大將、田邊盛武中將、眞田穰一郎大佐、後列蓮沼蕃大將、左前列永野修身大將、伊藤整一中將、福留繁中將、山本親雄大佐、後列東條英機大將、嶋田繁太郎大將、綾部橘樹少將

日本語の世界性

各國に於ける國語の運動

一、國語常用の意義

内鮮一體の基底をなすものは言語の一元化、即ち國語常用の徹底にある、何故ならば國語は民族精神の外的表現に外ならず、自然民族精神と國語は同一のものであるといふのが言語に對する妥當な定義であるからである、從つて半島人の皇民化も日本語を完全に把握することにより、日本精神を完全に體得することが出來、それによつて初めて内鮮一體化も實を結ぶのである、歴代總督が國語政策を高く掲げてゐたのも、特に國體本義の透徹による道義朝鮮の建設を基本政綱とする小磯總督が國語常用に對し肝膽を碎くのも畢竟國語の一元化による國民精神の統一を感銘するが故である、ところで我が日本語は國力の伸張に隨伴し、現在素晴らしい躍進をとげ、世界語として磐石の地位を固めつゝあり、他方我國が國語尊重により民族精神の昂揚に努めてゐると同様に列強も過去、現在を通じ我國に劣らぬ國語政策を實行してゐるのである、かくの如き現實から我國語の世界性と各國の國語運動について若干の考察を下すのは必ずしも意義なしとはせぬだらう

二、日本語の地位

地球上の人類の間に使はれてゐる言語は無數である、このうち代表的言語を擧げてみると(單位百萬人)

支那語	四四五
印度語	三〇〇
ロシヤ語	一三六
英語	一二四
日本語	一〇〇
西班牙語	八〇
獨逸語	七八
佛蘭西語	六二
馬來語	六〇
葡萄牙語	四七
伊太利語	四一
黒人語	四〇

即ち世界で一番使用者の多いのは支那語で、次ぎが印度語、ロシヤ語となる、現在世界語として最も巾を利かしてゐる英語は第四位を占め、更にこれに對して目に見えぬ脅威を感ぜしめつゝある我日本語が常用者一億を算し世界で五番目の有力言語となつてゐる事實を知る者は餘り數多くあるまい、また日本語と呼應し遠からず逕にとつて代り日本語と共に世界語として約束されてゐる獨逸語は第六位といふ順序にある、しかしながら言語の使用者が數的に多いだけでは決して世界語とはいひ得ない、常用者が多い點からすると支那語と印度語に敵ふ言語はあるまい、しかしこれらを世界語と認めるものはない、結局世界語は優秀な民族の言語で飽までも國力を背景とした指導力を持つ國語であらねばならない、この意味において最近日本語は英語や獨逸語と共に世界で高く評價されてゐるのは蓋し當然である、特に大東亞共榮圏建設の進展に伴ひ、約十一億に上るアジヤ人の間に、この盟國の言語たる日本語が滲透してゆくのだから、日本語の世界的地位は一途に向上するのみであらう

三、各國の國語運動

……ある、ソ聯の相當數の一つに『……す』とあるのを見ても判るだらう、從つて一九二四年に憲法を制定した後『ロシヤ』なる名稱を抹殺した後、外國から入る郵便中封筒面に『ロシヤ』といふ文字が使用してあると、これの配達さへ禁止したぐらゐ極端な態度を示した、その後ソ聯國内强化のために極力ロシヤ的要素を强化かつ讃美する傾向が段段顯著となり、このためロシヤ語の尊重と普及に意が用ひられ、曾て盛んに論議されたアルハベットをラテン語に變へ、もつてロシヤ語の世界語化する運動も今は全く姿をかき消し、また聯邦を構成するうちの幾つかの民族共和國に對しても、そこの學校教育に於けるロシヤ語教授の强制などが採用されてゐる(完)

わが海鷲の奇襲戰略
"フロリダ沖"の海戰
敵の補給船團を撃滅

【南太平洋〇〇基地にて二十九日竹田海軍報道班員同盟】『ガダルカナル島周邊にある敵艦船、主として輸送船團を攻撃し敵の反攻企圖を粉碎すべし』といふ命令に對する去る七日フロリダ島沖海戰の戰果は實に敵艦船十五隻撃沈破、敵機約四十機撃墜であつた、敵がこの海戰の奇襲作戰で被つた痛手は實に大きい、これこそ明かに敵反攻の出鼻を叩いた鮮かな航空奇襲戰であつた、戰闘當時は決して好天とはいへなかつたが、わが海鷲の攻撃精神は完全にこの自然狀況を克服し敢然ガダルカナル島上空へ殺到、遺憾なく敵補給船團を撃滅し敵が虎の子のやうに大切がるグラマン戰闘機を手當り次第に叩き落したのである、そしてその進撃は文字通りの神速だつた、この奇襲戰に〇〇司令官とともに〇〇基地にあつた報道班員はまざ／＼と航空戰闘の激烈さを目で見て體験したのである

進發 七日午前〇時〇〇基地一帶にはスコール性の雨雲が蔽ひ被さつてゐた、時々飛行場周邊の椰子林をざつと叩いてスコールさへ襲つて來る、嫌な天候だ、その暗黒の平原に點々と螢火のやうに整備員が機の手入れをする懐中電燈がまたたいてゐる、攻撃を前に徹夜の整備作業をしてゐるのだ、戰がすーつと目の前の闇を流れて行く、轟々と試動する發動機の響に夢を破られたのだらうか、微かに黎明が闇を薄墨色に色あせる朝の明るさへ突激するかのやうに闇の幕をつき破つて海鷲は飛び出す、そして司令官の乘る誘導機が雲の上へ出た時〇〇メートルの澄んだ大氣の中には何んと素晴しい多數の編隊がゐたことが刻々明けて來る朝空を列機はかくして快翔する、極地の水原を見るやうな海上に漂ふ斷雲を縫うてこれが蔽天動地の大戰爭を敵に加へる航空部隊とは思へぬ平和な飛行である、かくして〇〇キロを一飛びに攻撃隊と分れてわれらの誘導機が前進基地へ着陸したのはまだ椰子林を濡らしてゐる、敵の最前線基地ガ島から僅か〇〇キロの地點、敵味方が睨み合せて半歳以上にわたる熾烈な對峙をつづける大東亞戰決戰の地とはいへ朝はどこでも同じ靜穏さだ

攻撃 だがこの朝の靜寂は忽ちにして破られる、突如頭上を金屬性のかん高い爆音を漂はせながら敵のロックヒード偵察機がどえらい高度をとつて飛び去つた、奴はわが方の攻撃を感知したらうか、朝はくばあと二時間、いや一時間でもよい、感づかずにくれたら戰爆連合の攻撃大編隊が飛び去つた、空に向つて思はず手を合せる、直ぐ近いガダルカナル上空へ心は飛ぶ、報道班が椰子の梁蔭で戰闘部隊の武運を祈つてゐる時、小高い丘へ立ちつくしてゐる司令……

……まるで胸奥で燃える必勝の信念をガ島の空へ叩き付けてでもゐるかのやうに、烱々と光る眼で飛ぶ南島の空を凝視してゐる、……白雲敵がありとあらゆる力を傾けて築く近代的陣地へ……する海鷲の勇士たちだ、敵戰爆が數百機待構へ高角砲が重圍を張る中への突入だ、司令官の……は察するに餘りある、報道班を共にした攻撃機隊は第〇隊に北岸の敵艦船集結地へ雪崩れてまづガ島の南方海上から……べく敵襲が巻き散らされる海へ進んだが、あゝ何んたる無念、同島上空一帶には一千メートル上の積亂雲が聳えてゐる、これを突破して編隊を亂すのはの最も下とすべきところ、やなく同島を西に迂回した、西に達した時すでにわが航空部隊の急襲に斷乎し切つてゐる敵數十機のグラマン戰闘機と猛烈な地上砲火を浴びせて來た、……部隊に委せ、爆擊機を掩護しながら東へ敵空深く進んだのである、一方爆擊隊はガ島を西方から迂回する時の氣持はたまらなかつた、西端を廻つて北岸へとりついた時から敵戰闘機の襲撃地上砲火が刻々機烈になつて行く、まあ想像してくれ給へと爆擊機隊の〇〇大尉はいふ、この一隊はかくて各機幾發かの被彈を物ともせず、ひたすらに東へ東へと進んだ、てうど敵飛行場に近い海上で僅かの雲の切目から殘隻の輸送船團が右往左往してゐるのを認めた、隊を二分して一隊がこの船團へ突入、雲の穴から下に見る船團へ襲ひかゝつた、爆擊機に對しその穴を目がけて盲滅法に射つて來る防空砲火は穴を塞いで一杯に炸裂するその中を耳も裂けよばかりの急降下で突破して全彈命中を果し船團の周圍をぐるぐる廻つて防空砲火を射ちつづけてゐた、敵驅逐艦も命中彈の炸裂と共に黒煙をあげて瞬間に沈沒した、この餌物を僚機に託した他の爆擊隊はなほも餌を求めて進む、……

日滿國策を强化
滿鐵の機構を改革

【新京特電】大東亞戰爭下、大陸交通運輸の重大部門を擔當する滿鐵は時局の要請に即應するため從來奉天に集結してゐた本部機能を明確にすると共に鐵道總局の獨立的存續を解消し現場事務の簡易集中をはかり戰時下、國防經濟の緊急要請に對應するため本部機構の中樞を最大限に新京に進駐せしめ日滿國策に寄與協力の態制を强化するため全面的に本部機構を新京に進駐し重役自ら陣頭に……ことになつた、……

蠶種、繭、生糸の新値
養蠶收入は增加し經營も有利
待望の標準價格決る

本年度蠶種、繭、生糸の標準價格は、さきに鹽田農林局長談をもつて値上げ方針を發表、内地側改訂と並行して蠶繭增產推進のため幅十五掛の値上と併せて蠶種の生糸の標準價格を決定、養蠶收支の補償對策をなしつつあつたが、卅日内地と同一發表した、その内容は結局内地と同じく十五掛の引上げを斷行し現在の五十六掛は一躍七十一掛となり專ら計畫生產の實現を圖ることとなつた即ち今春蠶優等繭一貫匁は九圓二十三錢となり、養蠶收入は近年に無く增加し經營も相當有利になるであらう

次に生絲の値段は製絲工場の生產費に於て諸税、物價、繭……

令第七條の規定による朝鮮蠶絲統制株式會社の買入又は賣渡しを爲す昭和十八年蠶種及び繭並に昭和十八生糸年度產生糸の標準價格左の通り定む

蠶種 ▲標準買入價格一〇五圓五錢▲標準賣渡價格一〇五圓二十五錢

繭 ▲標準買入價格七十一掛▲……

奈良の情趣を滿喫
聖地參拜學童元氣旺盛

大家族成都長

隨想録

米國では、ひとりが、"日本によつて米國は空襲される"と云へば、ひとりはまた"日本軍は米本土に上陸する"と……に今更ながら驚いたことだつた

……本を占領してみせると豪語したり日本の上空を爆撃機で影めるぞと威張つてゐる間は、笑つてゐていいが、俄に默れてみせるのには、陰險な計略と策謀があるとみるべきだ▲一度やつて來た敵機が、日本の空にまたいつ現はれるかも知れぬといふことを、國民は瞬た間も忘れてはならない。グルーが"日本必ず米本土に上陸して攻撃せん"といつても、安心は禁物だ▲勿論皇軍は倫敦でも華盛頓でも觀兵式を行ふに相違ない。しかし、その快報を聞くまでは、敵が爆音を吹くのに安心して、銃後の護りをおろそかにしてはならぬ。

【寫眞＝龍山原頭の天長節觀兵式】

聖壽の萬歳を祈念
朝鮮神宮 天長節祭

聖壽の無窮を壽ぎ奉る朝鮮神宮の天長節祭は、廿九日午前八　、その大前で嚴かに執り行はれた、昨夜來、畏みて參籠の儀を終へた額賀宮司以下神職諸員は今日を祭めの席に謹みて着き、定刻には小磯總督以下各官軍民三百も面をかがやかせて列席、やがて奏樂の裡に宮司御扉を開き奉ればついで稲……宮司以下恭しく神饌を供し奉り、それより宮司の祝詞奏上に移つて諸員一際に嚴かなる大内山を拝して聖壽の萬歳を祈念し奉つた

かくて小磯總督、田中政務總監をはじめ李家中樞院副議長、朴忠重陽、韓相龍兩中樞院顧問、李恒九李王職長官、波田聯盟事務局總長、李圭完貴族總代、文官總代石田遞信局長、武官總代皆川少將、道民總代高京畿道知事、府民總代千田京城府總務部長の玉串奉奠あつて再び總員拜禮、奏樂の裡に宮司御扉を閉ぢ畢つて九時半滯りなく天長節祭を終つた

本府の拜賀式

本府天長節式は午前九時四十分より第一會議室に於て擧行、小磯總督、田中政務總監をはじめ各勅任者、本府職員及び京城第一……總官署長、勅任官、同待遇者……賀朝鮮神宮宮司、李家中樞院……長、同顧問、同參議、朝鮮……參列、九時五十分より本府……及び囑託參列、山口理事官の……最敬禮、開張、判任官代表……鑛山課増田屬の祝詞あり、……二階大廣間において冷酒を……萬歳を唱和して十時過ぎ閉式

誓ひ固し生産殉國
五氏の胸に今ぞ輝く顯功章

決戰下、半島にも生産の戰力増強に赤誠を捧げて、その功勞大いなる産業戰士を國家の名で表彰する勤勞顯功章令を制定、榮えある初の中央表彰顯功章授與式を廿九日の天長の佳節をトして正午から春色濃い總督官邸で擧行した

大辻和作（茂山鐵鑛）中島猪之助（朝鮮重工業）金光昌信（鐵道局京城工場）濱田治三郎（日鐵兼二浦製鐵所）卯野敬一（日鑛御宮鑛山）五氏は生産の第一線に挺身力闘、その功績酬いられてけふ譽れの表彰に選ばれた感激を胸に躍らせて早くも午前十一時式場にその晴れの姿を現はして開式をまつ

やがて小磯總督、田中政務總監、波田總力聯盟總長、上瀧殖産、鹽田農林兩局長をはじめ倉島文書、堂本情報兩課長らが臨席、正午のサイレンに總督も被表彰者も一緒になつて一同敬虔な默禱を捧げ式に入る、開式の辭についで皇城遙拜、必勝祈願を終つて小磯總督が輝く勤勞顯功章と表彰狀を大辻氏ほか四氏の勤勞……つかつかと表彰者の前に……つて

『おめでたうございます、つけてあげませう』

と大辻氏ほか四氏の胸に一々顯功章をさげてくれた、その瞬間に燦然と輝く産業戰士の勳章ともいふべき光榮の下に……する溫情總督の親心に、一同……

【寫眞＝被表彰者へ顯功章をつける小磯總督】

小磯總督訓示

……決戰を賭した此の曠古の大戰爭に於て我が勝利を決定的のものたらしむるは實に今後に於ける戰力に飛躍的増強を加ふるの一事に存するのであります

而して諸君の職場は一路第一線の戰場と相通じ鶴嘴やハンマーの一打ちづつが直に戰局に影響を持ち、征戰完遂の成否は一に諸君の双肩に懸つて居ると申すも過言でありません、此の秋に當り工場鑛山に於ける勤勞者諸君が眞に克く時局を認識し生産の第一線に挺身しつゝあることは誠に感激に堪へない所であります

諸君は今日の此の榮譽を深く胸底に刻み率先垂範各々人格を錬り彌々奮闘努力以て産業戰士たるの榮譽を今後に全うし、國家の期待に副はれんことを切望して已まない次第であります

【寫眞＝晴れの表彰者（向つて左から）濱田、中島、金光、大辻、卯野の五氏】

答辭

被表彰者一同を代表いたしまして謹んで御答へ申上げます、本日の佳節に當り朝鮮總督閣下の御臨席の下に茲に嚴肅なる勤勞顯功章授與式を擧行せられ只今總督閣下より有難く勤勞顯功章の授與を受け更に御懇篤なる御訓示を賜り、我々一同は皇國勤勞人として此の上なき榮譽に只管感激するのみであります

我々五名の者は勤勞者として今日迄何等取り立てゝ爲す所もなく只自己の職域に於て當然爲すべき務を果したに過ぎないのであります、然るに今回圖らずも勤勞者として最高の名譽たる勤勞顯功章を授與せられ國家の表彰を受けることになりましたことは誠に恐縮に存ずると共に感謝、感激に堪へない所であり單に一身一家の榮譽たるのみならず、私共の工場事業場は勿論大きくは全勤勞人の榮譽でありまして、この劃期的優遇に對して深く銘記しなければならないと存ずる次第であります

御訓示の如く今や大東亞戰爭は決戰に次ぐ決戰を以て生産力の増強は一刻たりとも忽せにすべからざる秋であります、我々は今日の此の榮譽を深く胸に刻み、前線勇士の心を心とし勤勞報國の決意を新たにすると共に一意專心生産増強に邁進し御期待に副ふ決意であります、なほ今後とも一層御鞭撻を賜はりますやう御願申上げます

以上甚だ其の意を盡しませぬが之を以て御答といたします

表彰者代表　大辻和作

天長節觀兵式
"斷じて撃つ"の威武
きのふ龍山原頭の偉觀

皇國八紘に光被し一木一草に宿して迎へる廿九日天長の佳節に一億の蒼生、東亞新附の民族擧つて聖壽の無窮を頌し奉り慶祝の誠をいたすのとき、あたかも燦若乗に朝光燦と映えてすがやかなる龍山練兵場原頭に午前十時卅分在城の精鋭たる各隊將兵、鄉軍、學徒、志願兵訓練所生、青年團の一萬が集ひ京城師團長總指揮のもと板垣朝鮮軍司令官觀閲官となり勇壯嚴たる觀兵式の盛儀を繰り展げた

こゝにりきき"斷じて撃つ"の威武を示し嚴烈の氣魄、必勝の息吹きを面にあらはして早朝より參觀者は式場に押し集つた、觀覽席には……る、來賓席には車籍の波田聯盟總長、松本海軍武官、總督府上瀧殖産局長初め各局長、官民諸勝者もまた整然として控へた、劇喨たる部隊に次いで參觀團體は軍需工場……"海征かば"の喇叭吹奏の裡を諸……日婦婦人團體、傷痍軍人、遺家族……各學校生徒、鄉軍、青年團などで……威儀正しき白衣の勇士と共に各々……所定の位置西側松林の高地を埋め……

……るのであつた、かくて午前十一時卅分莊重極まりなき觀兵式はこゝに終了した

"飽なき米英の搾取"
上田、井上報道班員談

……

皇恩
模範受刑者に
ご奉公に邁進する假出獄者

……水原郡生れ、十二年前殺人の罪に問はれ服役今日に及んだが、生涯を諦めてゐた丈に今日の假出獄の恩典に老いの眼をしばだたいて感泣しつゝ出獄した

宮崎所長は語る

本日天長節奉祝式後引續き今回の有難き恩典に浴した受刑者十名に對し假出獄證を渡しましたが本人は勿論見送る受刑者全員も溯大無邊なる恩の程に感泣し一意更生を誓ふ姿がありくと見受けれ全職員また身内の引締る思ひであり勝抜く決戰下に愈々職域奉公の念を昂揚した次第です【寫眞＝宮崎西大門刑務所長】

黄江隊が新記録
神宮・扶餘間繼走大會終る

……餘名が扶餘、朝鮮神宮間二百五十キロの道破に熱血敢闘の結果、黄江隊が十六時間二分十九秒の記録で第一位を占めたが他の六隊の選士達も『壓滅せずんば止まぬ』の決意を發揮し作ら善戰し多大の成果を收めた、なほ總距錬成各隊の成績は左の通り

▲第一位、黄江隊、十六時間二分十九秒
▲第二位、咸興隊、十六時間二分五十四秒
▲第三位　京畿隊、十六時間、二十六分十六秒

赤襷の銅像陸續
半島民赤誠の献納

決戰下……新兵器に莫大な鐵、眞鍮等の鐵類が必要なのだ、聲を大にしてこれら鐵類の回收、供出を叫んでゐるとき天長の佳節を期して廿九日午前十一時五十分から朝鮮軍愛國部では遙々江原道江陵郡民一同の赤誠にかゝる銅、眞鍮の鐵類千餘點の献納式が行はれ、愛國部員平井大尉から立會、倉茂報道部長採納官となり、盛大に行はれた

この献納品のうちに赤襷をかけた巨大な銅像と胸像一基がある

一つは一丈餘の吉野麟氏の銅像でこれは同氏が道立醫院長として江陵邑に赴任以來寢食を忘れて邑民の醫療救恤に當り、時には私財をも投じて邑民の福利厚生に盡し、邑民から生ける神樣とまで崇められ感謝のまことから銅像建立とまでなつたもので今回この銅像を戰勝皇軍將兵のために再度お役立てしようと銅像保存會長井出鐵氏が邑民にはかつて献納となつたものであり、また他の一基故野本甚次郎氏の頌德胸像は氏が金融組合理事として江陵に赴任したとき部落の漁村は極度に疲弊してゐたが同氏は挺身獨鬪よく五百の組合員を救ひ更生させるとともに今日の隆盛の礎を築いたものでこれまたその人德を偲び頌德碑の建立となつたもので未亡人名義で献納されたものである

受納の倉茂報道部長は吉野麟氏はじめ江陵献納者代表らに對して烈々皇軍將士の勞苦を勞苦として銃後に奮闘する郡邑面の赤心を讃へるとともに廣大なる戰線に活躍する陸軍勇士がこれら献納の鐵類によつて作られた近代兵器をもつて必ずや銃後の誠心に感奮し愈々敵殲滅に一段の戰果を擴張するであらうことを結び陸軍もまた巨大な銅、眞鍮の鐵類が今直ちに必要である旨を強調謝辭を述べて献納者の胸に熱い感激と感激を與へて午後零時廿分献納式を閉ぢた【寫眞＝赤襷の銅像】

產報隊長の錬成講習會

【咸興】建設の秋を迎へ續々と道内各地の工地に出動建設咸南の鐵腕をふるつてゐる産業報國運……

"佇の冥る場所です"
護國神社の基礎工事に勤勞奉仕 遺族會の人々

◇……一鍬り毎に父の名を呼び子を偲びつゝ、子を夫を兄を殉國に捧げた遺族達が、天長節をトして京城龍山の護國神社に勤勞奉仕した

◇……支那事變から大東亞戰爭にかけて雄々しくも遺族となつた人々の集り、京城殉國軍人遺族會では、會長川井昌一氏以下盛田京城氣象台長らも交へて約二百名が、嘗ては戰死した子等や兄弟や夫の靈が合祀されるであらうはずの護國神社の基礎工事に、せめて溫かい勤勞の汗を注ぐため、午後一時から同御造營地に集つて石運びや土運びに奉仕作業を續けた

◇……佇の眠る場所ですと五十路を過ぎた肩に荷籠を擔ぐ母、弟のみ冥眠る地へ手向けの石を持ち運ぶ姉など、麗はしい情景を描いて午後四時終つた【寫眞＝護國神社に勤勞奉仕する京城殉國軍人遺族會】

砂糖の配給は協會から

家庭用砂糖の配給機構は、從來京畿道砂糖配給協會より各警察署單位に設けられた砂糖配給統制組合を通じて一般家庭へ配給してゐたがこのほど配給機構を改革し、今後は京畿道食料品卸商業組合より京城食料品小賣商業組合を經て一般家庭へ配給することになつたよつて各署管内の砂糖配給統制組合はこのほど旭講堂で舊組合解散式を擧行、引續き京城食料品小賣商業組合の砂糖部會創立總會を開催して役員選任を行ひ部長森川米吉、副部長中村稔兩氏以下部委員十九名を任命、砂糖の適正配給に萬全を期することになつた

銃劍道振興會を結成

【寒砂】邑では天長の佳節けふ二十九日をトして午前十時寒砂北公立國民學校講堂において大日本銃劍道振興會寒砂分會結成式を擧行する